

塩素用ボール・バルブ C60V シリーズ メンテナンス手順説明書

キット内容：

上部パッキン (1 個)	シート・サブアセンブリー (2 個)	下部パッキン (1 個)
O リング (2 個)	パッキン・サポート (1 個)	ステム・スプリング (3 個、62 シリーズには含まれません)
グランド (1 個)	ステム・ベアリング (1 個)	潤滑剤 (1 個)
化学物質安全性データ・シート (MSDS) (1 部)		

注意：塩素用ボール・バルブの取り扱いまたはメンテナンスの際は、ユーザーの責任において、所属する企業の方針に従ってください。塩素用ボール・バルブは、Chlorine Institute Pamphlet #6, Piping Systems for Dry Chlorine に準拠しています。ユーザーは、バルブの構造が特定のシステム要件に適合していることを必ず確認してください。塩素は有毒かつ強力な酸化剤です。塩素を使用するシステムの設計は、有資格者にご依頼ください。また、特定のシステムの操作やメンテナンスを行う場合、安全手順を遵守してください。

警告：システムに取り付けたバルブのメンテナンスを行う場合には、必ず事前に以下の作業を行ってください。



- ・システム圧力の開放（システムの圧抜き）
- ・バルブの開閉

警告：バルブやシステム内に残留物が見られる場合があります。

注意：本説明書に従って作業を行う場合は、分解図を必ず参照してください。

1. システムのドレンを行い、バルブを開状態にします。ハンドルの向きを書き留めておいてください。これは、再取り付けの際にハンドルを同じ向きに取り付けて適切な流れ方向を示すために必要となります。
2. ハンドルでステムを固定し、レンチを使用して、上部ステム・ナット、ステム・スプリング、ストップ・プレート、ハンドル、アース・スプリングを取り外します。

注意：62 シリーズの場合、ステム・スプリングは含まれません。

3. ステム・スプリングを廃棄します。ステム・スプリング以外の部品は再取り付けの際に必要となりますので、別途保管しておいてください。
4. ボディ・ファスナー 4 個を緩め、C のボディ・ファスナー（センター・ボディ図参照）のみ取り外します。
5. センター・ボディを回転させて外側へ引き出します。
6. シート・サブアセンブリーおよび O リングを取り外して廃棄します。

注意：ボールを取り外す前に、ベント・ホールの位置を書き留めておいてください。これは、再取り付けの際に同じ向きに取り付けるために必要となります（バルブが閉状態の場合、一次側に来ることになります）。

7. ステムを 1/4 回転まわして、ボールを取り外します。落下して損傷しないよう、ボールを固定します。シート・サポート・リングおよびベント・ホール付きボールをセンター・ボディから取り外します。シート・サポート・リングおよびベント・ホール付きボールは再取り付けの際に必要となりますので、別途保管しておいてください。

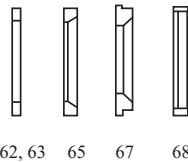
注意：シートのみを交換する場合は、手順 7 の後、手順 27 へ進んでください。

8. ハンドルでステムを固定し、下部ステム・ナットを取り外します。下部ステム・ナットは再取り付けの際に必要となりますので、別途保管しておいてください。
9. **62 シリーズの場合：**ステム・スプリングおよびグランドを取り外します。ステム・スプリングは再取り付けの際に必要となりますので、別途保管しておいてください。グランドは廃棄します。
63 ~ 68 シリーズの場合：ステム・スプリングおよびグランドを取り外して廃棄します。
10. バルブのパッキン・ボア部（ボディ上部）からパッキンおよびパッキン・サポートを取り出します。その際、パッキン・ボア部（ボディ上部）およびステムにスクラッチ傷などの損傷を与えないようご注意ください。
11. 上部パッキン、下部パッキン、パッキン・サポートを廃棄します（再取り付けの際は、キットの部品を使用します）。
12. ステム・フラット部をフランジ・シール面と平行にした状態で、ステムを傾けてボディから取り外します。
13. ステム・ベアリングをステムから取り外し、廃棄します。
14. ステムおよびボディ・ボア（ボディ内部）のクリーニングを行います。スクラッチ傷などの損傷を与えないようご注意ください。

15. 未使用のステム・ベアリング、ステム・シャック、パッキン・ボア（ボディ上部）に、潤滑剤（MS-LT-240-AC）を塗布します。
注意：ステム・ネジには潤滑剤を塗布しないでください。
16. ステム・ベアリングを面取りされている側を上にしてステムにセットします。ステム・フラット部とフランジのシール面を平行にしてステムを傾け、パッキン・ボア（ボディ上部）に差し込みます。
17. ベント・ホール付きボールを、手順6で書き留めた位置にセットします（バルブが閉状態の場合、一次側に来ることになります）。
18. ベント・ホール付きボールをセンター・ボディにセットし、ボールの溝とステムの突出部を噛み合わせます。
19. レバー・ハンドルでステムを90°回転させ、ボールを開状態にします。ハンドルを取り外します。
20. 上部パッキンおよび下部パッキンに、潤滑剤（MS-LT-240-AC）を塗布します。
21. 下部パッキン、上部パッキン、パッキン・サポート、グランドをパッキン・ボア部（ボディ上部）に差し込みます。
22. 1番目のステム・スプリングは凹面を下に、2番目のステム・スプリングは凹面を上にして、ステムに取り付けます。
注意：62シリーズの場合、手順9で取り外したステム・スプリングを使用してください。
23. 下部ステム・ナットをステムにねじ込みます。下部ステム・ナットに、合金400製を示す「M」が刻印されていることを確認してください（上部ステム・ナットは炭素鋼製です）。
24. ハンドルでステムを固定し、下の表に記載のトルク値で下部ステム・ナットを締め付けます。

バルブ・シリーズ	62	63	65	67	68
トルク値 (N・m)	2.8	5.7	11.3	17.0	17.0

25. アース・スプリング、ハンドル（手順1で書き留めた位置にセットしてください）、ストップ・プレート、ステム・スプリング（凹面を上にしてください）、上部ステム・ナットをステムにセットします。
注意：62シリーズの場合、ステム・スプリングは含まれません。
26. 手順24の表に記載のトルク値で、ステム・ナットを締め付けます。
手順27～33を行う際は、片側ずつシートを交換してください。
27. シート・サポート・リングおよびフランジ・シール面のクリーニングを慎重に行います。
28. シート・サポート・リングをセンター・ボディの溝にセットします（図をご参照ください）。

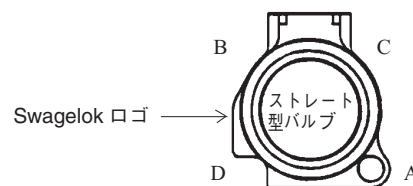


注意：65 / 67シリーズのサポート・リングには面取りを行っており、68シリーズのサポート・リングにはリップが付いています。面取りされている側またはリップをボール側に向けてください。

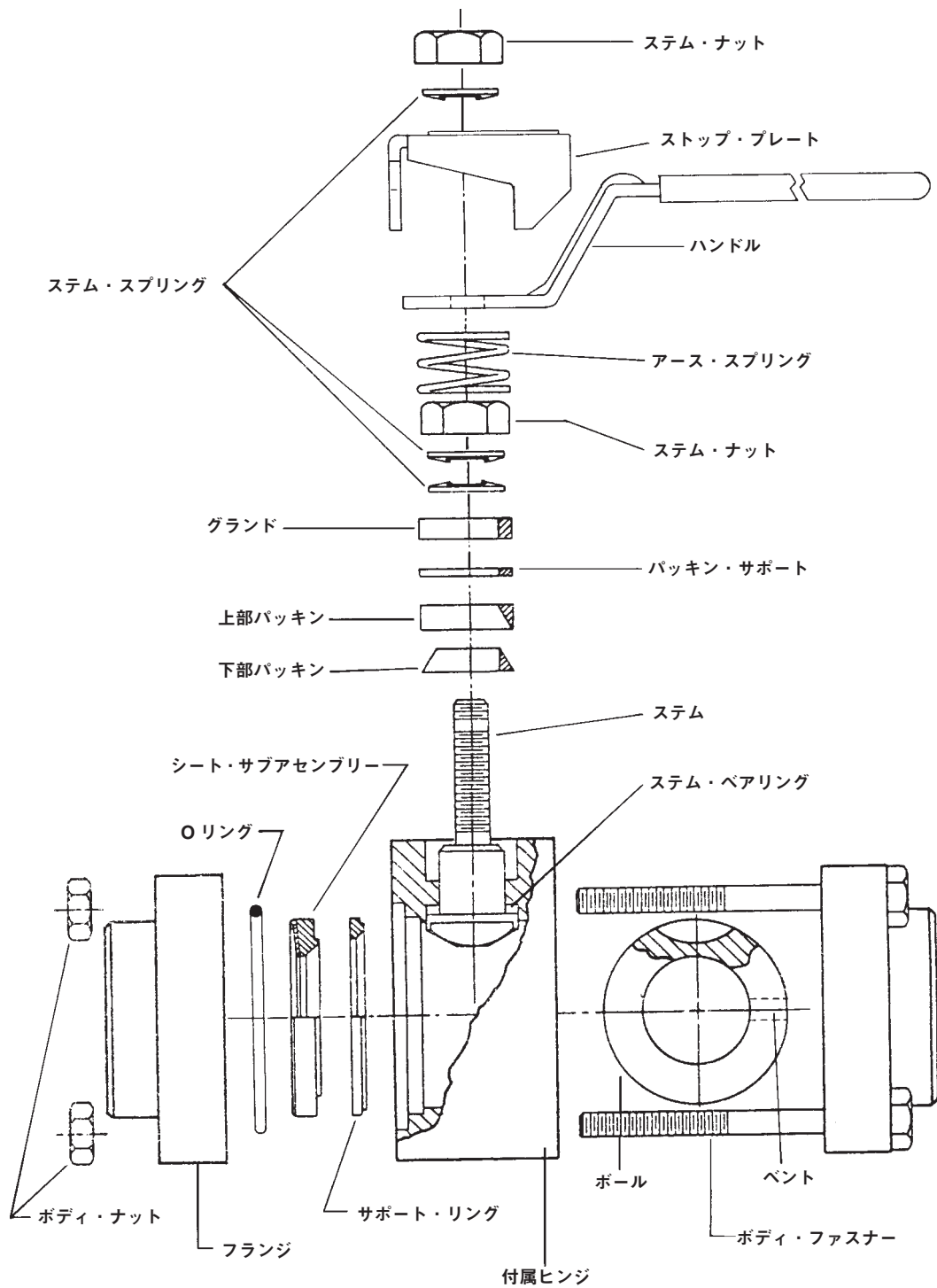
29. シート・サブアセンブリーをセンター・ボディにセットします。その際、金属製シート・スプリングがボールとは逆向きになるようにしてください。
30. Oリングに潤滑剤（MS-LT-240-AC）を塗布します。
31. Oリングをセンター・ボディにセットします。
32. センター・ボディを回転させて戻し、手順4で取り外したボディ・ファスナーおよびナットを再度取り付けます。
33. ボディ・ファスナーを図中のアルファベット順（十字交差の順）に締め付けます。締め付けの際のトルク値については、下の表から該当する「バルブ・シリーズ」を見つけ、その「1回目」の欄をご参照ください。2回目以降のトルク値についても、手順は同じです。

ボディ・ファスナー・トルク値表 (N・m)

バルブ・シリーズ	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
62	0.57	1.1	2.3	4.5	4.5
63	1.1	2.3	4.5	11.3	11.3
65	2.8	5.7	11.3	33.9	33.9
67	4.0	8.5	17.0	45.2	45.2
68	4.5	11.3	22.6	67.8	67.8



34. システムへの再取り付けを行う前に、テストを行います。



この日本語版取り扱い説明書は、英語版取り扱い説明書の内容を忠実に反映することを目的に、製作いたしました。日本語版の内容に英語版との相違が生じないように、細心の注意を払っておりますが、万が一相違が生じてしまった場合には、英語版の内容が優先されますので、ご注意ください。

Swagelok

www.swagelok.co.jp

Swagelok – TM Swagelok Company
 © 2001 Swagelok Company
 MS-INS-C60VJ-E
 CPC Revision C
 March, 2001
 B12P